

ブータン王国における雨季の洪水対策に関する基礎的検討

平成 27 年 2 月 秋本 早紀

要旨

目的

ブータンでは、雨季の洪水に対する防災対策があまり行われておらず、そのための観測体制も整っていない。現状では、有効な洪水対策を行っていくための情報が少ないといえる。そこで、本研究では、今後雨季の洪水対策を考えていくための第一段階として、ブータンの概要や現在の防災対策などの基礎情報と現存する水文観測所のデータ（降水量・流量）観測状況を整理するとともに、降水量データの信頼性を検討した。

方法

まず、インターネット、文献収集および現地での聞き取りにより、ブータンの概要や現在の防災対策などの基礎情報を得た。次に、ブータン政府から提供してもらった水文データを検討することによって、現存する水文観測所における観測状況の整理を行った。

結論

得られた結論は以下のとおりである。

- ・ 氷河湖決壊洪水については、多くの対策が行われている。一方、標高の低い南部を中心とする雨季の洪水については、防災対策が不十分である。
- ・ 観測データの欠測回数については、降水量は多いが、流量は少ない。日降水量のデータは、冬季に一部欠測がみられるが、おおむね信頼できる。一方、時間降水量のデータは、欠測が多く、信頼性も低い。

指導教員 豊田 政史 助教